



I-OWA マンスリー・セミナー講演より ヤング・アダルトのための時間の使い方

講演： 岡本 和久
レポーター： 赤堀 薫里

私たちは、お金というご縁のネットワークの中で生きています。投資は、時間をどのように使っていくかということです。つまり、どのように生きていくのかということ。お金や投資を学ぶことによって、ご縁のネットワークの中でどのように生きていくべきなのかということに、気づくことができます。

人生は「学びの時代」、「働きの時代」、「遊びの時代」と3つの時代に分かれます。その中で、「学びの時代」から「働きの時代」に移行していく時代がヤング・アダルトだと言っているでしょう。もちろん、必ずしも年齢に関係なく、いくつになっても学びの時代だということもできます。人生を通じて常に世の中の関わりがあります。つまり、ヤング・アダルトと言っても、若者世代だけに限ったものではありません。そこでヤング・アダルト@Heart、つまり、心がヤング・アダルトの人のためということも含めてお話をしたいと思います。



人生の目的は、お金持ちになるためではない。出世のためでもない。しあわせ持ちになるためです。多くの人の意識が、今の自分という小さなボックスの中に入ってしまった。そこから少しずつ出て、広い世の中、長い時間軸で、みんなのため、未来のためと、意識を広げていくことができる。それが良いことにつながっていきます。

ミヒヤエル・エンデのモモからの一説です。「光を見るために目があり、音を聞くためには耳があるのと同じに、人間には時間を感じ取るために心というものがある。そして、もしその心が時間を感じ取らないときは、その時間はないも同じだ」という面白い文章があります。心が時間を感じている。意識としてこの瞬間をどう生きているのかということ認識していないと、その時間はないも同じだと。そういう意味では非常に深い意味を持っています。ミヒヤエル・エンデは「時間と心」のことをいっています。私は「お金と心」ということをいっています。心を中心にして時間とお金というもの。お金と時間が結合したものが投資です。その真ん中に心があります。





FIWA®通信「インベストラ이프」

ヤング・アダルトが持っている最も貴重な資産が「時間」です。その時間をどう使うのかということ、どう毎日を生きるのかということ。その瞬間、瞬間を心のこもった時間の使い方にしていかないといけない。それをやっていくうえで大事なことが継続です。継続は力なりと昔からいいます。小さな事でいいので長く続けていくと大きな事を達成できる。これは複利と同じです。毎月の投資金額は少額であっても、複利の効果で尻上がりに大きくなっていく。

20歳の方が70歳になったときに、最終的に100を達成したい。69歳の時から準備を始めると当然、100の努力が必要になります。仮に複利の利率3%と想定すると(3%は意味がある数字ではありませんが、仮においてみます)。20歳の時から毎年0.9を積立ていくと、最終的に70歳で100になります。つまり、69歳で始めるよりは、20歳で始めた方がより少ない努力で大きいことを達成できる。

知識にも複利は効果を発揮します。100ページの本を毎日1ページずつ読むとしましょう。1日目には1ページの知識を得ます。しかし、それを続けていき10ページ目になるとそれまでに読んだ9ページ分の知識があるのでより深く10ページ目を理解できる。100ページ読み終わるとその本全体の伝えたいことがわかる。これも複利の効果だと言っていいでしょう。

小さなことを継続していくことがすごく大事です。時間をかけて少しずつ努力を続ければ、より少ない努力総量で大きな成果が得られる。本当に大切なことに心を込めて生きた時間を使う。大切なことは、努力を絶対に止めない、何があっても続けること。積立投資と全く同じ事ですね。自分にとっての幸せ持ちから、世の中全体が幸せ持ちになるために、どう尽力できるのか、どういう力を発揮することができるのか、それが我々の課題だと思えます。

講演では、幸せの六角形。それぞれの六の富が積立投資にどんな効果があるのかなども解説がありました。就職と就社の違い、プロの三要件、プロの行動規範の説明など新しい気づきもありました。さらにカリフォルニアの日系二世、フレッド・コレマツさんの興味深いお話をしてくださいました。

最後に「時間というものを大事に使って、みんなのために、未来のためになる世の中作りに、1人1人の人ができる範囲で貢献してもらいたい。自分のためのハッピー・マネー®4分法ではなくて、みんなのため、未来のためのハッピー・マネー®4分法ということを考えてもらいたい」と語られたことが印象的でした。